

今日のトピック 最近の指標から見る豪州経済（2016年5月）

緩やかな景気拡大：注目される7月の総選挙

ポイント1 労働市場は緩やかに改善 家計セクターは底堅く推移

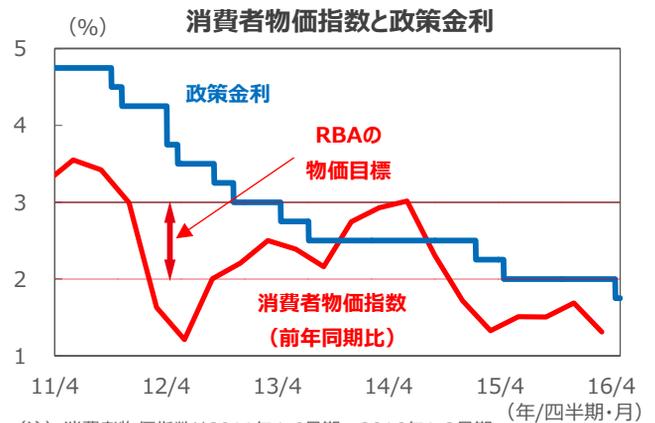
- 2016年4月の雇用者数は前月比+1.1万人の増加となりました。雇用統計は月ごとの変動が激しいため、変動を均した政府公表のトレンド値を見ると、4月は同+0.4万人増でした。前月の同+0.8万人増からは鈍化しましたが、企業マインドが大底を打ち、改善基調にあることから、今後、雇用の勢いは再び強まる見込みです。一方、失業率は同横ばいの5.7%でした。
- 雇用の改善を背景に、小売売上高は前年同月比+4%前後の伸びを維持しています。家計セクターは底堅く推移しています。



(注) データ期間は2010年1月～2016年4月。雇用者数は政府公表のトレンド値。企業景況感指数は雇用DI。
NABはナショナルオーストラリア銀行。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 政策金利を引き下げ 物価上昇率の低下が理由

- 16年1-3月期の消費者物価上昇率は、前年同期比+1.3%でした。前期の同+1.7%から鈍化し、豪州準備銀行（RBA）の目標である+2%～+3%の下限を下回った状態が続いています。
- インフレ率の低下を受けて、RBAは5月3日に政策金利を0.25%引き下げ、過去最低の1.75%としました。当面のところ政策金利は据え置かれると予想されますが、景気の動向次第では、追加緩和が実施される可能性のあることには注意が必要です。



(注) 消費者物価指数は2011年4-6月期～2016年1-3月期。
政策金利は2011年4月30日～2016年5月19日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 注目される総選挙と2016年度予算案

- ターンブル豪首相は、上下両院の解散・総選挙を表明しました。投票日は7月2日です。下院に加え上院でも、与党・保守連合による過半数の議席獲得が狙いです。両院同時選挙は87年以来29年ぶり。
- 与党が勝利すれば、法人税減税、インフラ投資拡大などを盛り込んだ、2016年7月に始まる2016/17年度政府予算が成立します。そうなれば株価や豪ドルにも好影響を及ぼす見込みです。

ここもチェック! 2016年4月28日 豪州の「金融政策」の仕組み（オーストラリア） 2016年4月19日 最近の指標から見る中国経済（2016年4月）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。